

2011年冬のコレクション展

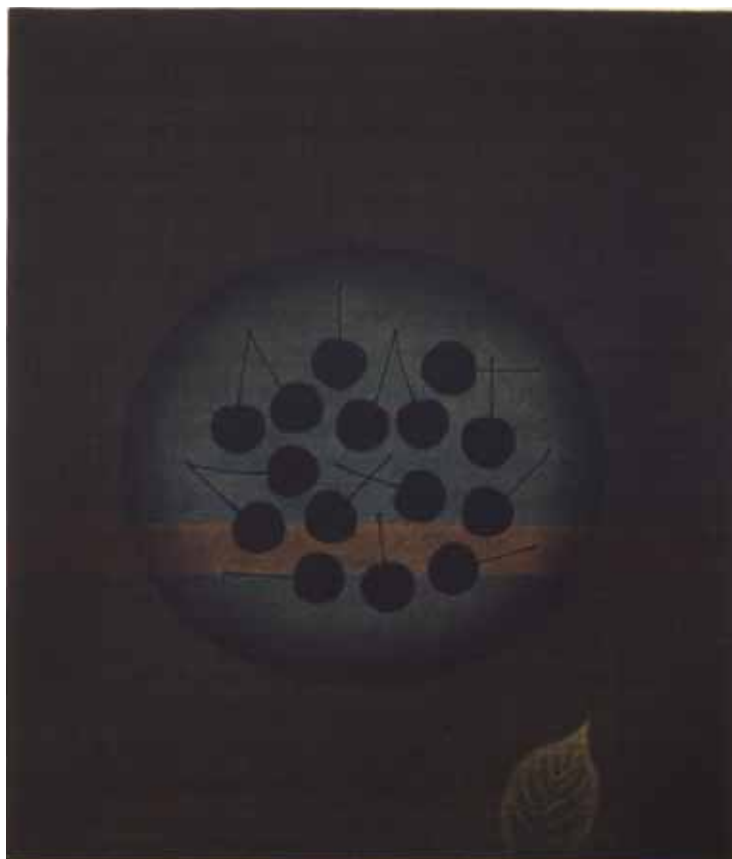
浜口陽三

— 少年の日の夢

銅版画展

12月6日(火) - 2月29日(水)

●12/26 ~ 1/6 は冬期休館●



1:「黒いさくらんぼ」1963年

展覧会概要

日時：2011年12月6日(火)～2012年2月29日(水)

入館料：大人600円 大学・高校生400円 中・小学生200円

休館日：月曜日(1/9は開館)、1/10(火)、冬期休館12/26(月)～1/6(金)

※12/10(土)、12/11(日)は銅版画教室の為、1階会場が鑑賞しにくくなります。

開館時間：11:00～17:00(最終入館16:30。土日祝は10:00開館。)

イベント

銅版画教室

(1) 体験教室〈初心者向け〉

日時：2011年12月10日(土) 14:00-17:00 講師：江本創(アーティスト)

モノクロームメゾチント技法を使って製版から刷りまでを行ないます。1回の実習でポストカード大の作品を完成させます。

定員：20名 参加費：1800円+入館料

(2) 自由教室〈経験者向け〉

日時：2011年12月11日(日) 14:00-17:00

ミュゼで体験教室に参加したことがある方限定の教室です。制作の場所を提供いたします。(※技法はモノクロームに限ります。)

定員：15名 参加費：500円+入館料

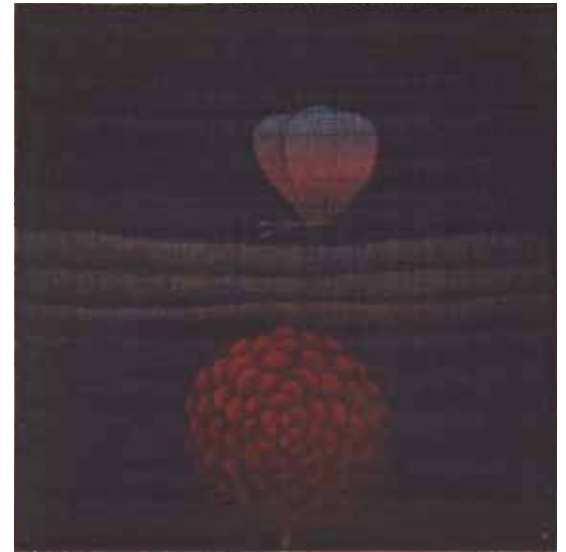
(1)(2) 申込：往復はがきにて受付(抽選)。詳細はHPにてご確認ください。

浜口陽三は、20世紀を代表する版画家の1人です。1950年代にフランスに渡ってカラーメゾチントという新しい銅版画の技法を編み出し、この技法を用いた作品によって世界的なコンクールで次々と大賞を獲得しました。見る人がずっと包み込まれるような、静謐さをたたえた作品は今でも世界中に知られています。

冬のコレクション展では、浜口陽三の銅版画を紹介するほか、少年時代の絵画類を展示します。千葉県銚子市で育った浜口は、「大きな絵より、小さくても真実の絵を描きたい」と小学校の絵の先生に語ったそうです。現存する絵は、水彩や色鉛筆のドローイングで、題材の多くは身近な静物や風景です。中には大正のモダンな風俗を感じさせるモチーフもあり、後の銅版画に通じるような特色も見出せます。未来のある少年の目に重ねるようにしてご鑑賞ください。

小学校時代の作品は25点ずつ前期、後期に分けて展示します。銅版画約50点と、芸大時代の油彩1点、最晩年に描いた「かもめ」の油彩（未完成）を展示します。

※2011年は、南桂子生誕100年を記念して、南桂子銅版画作品も10点展示します。



2:「蝶」1967年 カラーメゾチント



- 3: 少年時代のスケッチ 「ハート」
 4: 少年時代のスケッチ 「みりん」
 5: 少年時代のスケッチ 「インク」
 6: 少年時代のスケッチ 「ラベル」
 7: 少年時代のスケッチ 「船」

美術館概要

103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-35-7

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

TEL: 03-3665-0251 FAX: 03-3665-0257

Email: musee@yamasa.com

HP: <http://www.yamasa.com/musee/>

アクセス: 東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番出口そば、日比谷線「人形町」A2出口徒歩8分

プレスリリースご担当者様へ

展覧会取材いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

広報用の画像を貸出しいたします。ご希望の番号をお申し付けください。

お問合せは、広報担当: 新田までお願い致します。